

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会
令和2年度第6回 理事会議事録

令和2年8月24日(月) 20:00~20:30

静岡県浜松市東区半田山 1-20-1 浜松医科大学整形外科学教室

【出席した理事】伊東 学、大鳥精司、小田剛紀、川原範夫、西良浩一、高相晶士、
田中信弘、筑田博隆、千葉一裕、西田康太郎、根尾昌志、
長谷川和宏、波呂浩孝、松山幸弘、山田 宏、渡辺雅彦

【出席した監事】小澤浩司、小西宏昭

【出席したオブザーバー】大和 雄(第49回日本脊椎脊髄病学会学術集会事務局長)

【議事の経過の要領及びその結果】

理事長・松山幸弘が議長となり、開会を宣して議事に入った。

会議は web 会議で行われた。

1. 理事長挨拶

松山理事長が、ハイブリッド形式の学術集会を開催した他学会に参加した感想や、この先同様のハイブリッド開催を行う他の学術集会の予定などを述べた。

審議・決議事項

1. 前回議事録の確認

前回議事録について一同承知し、修正等ある場合は渡辺理事へ一報することになった。

2. 第49回学術集会開催状況について

大和事務局長が、第49回学術集会について、開催方針や基本方針、新型コロナウイルス感染症対策を講じた運営方法などについて説明した。

会議当日時点でキャンセルを差し引いた実際の登録者数は約 1,600 名程度となっていることを報告した。

またスライド登録者数がまだ2割程度であることや、現地に来られない座長も多いことを報告した。松山理事長が座長の欠席が増えると予想されるため、現地参加の役員に代理座長として協力していただきたい旨依頼し、一同承諾した。

また web での発表等に不慣れな発表者や座長もいるため、学会直前にリハーサル日を数

日設けていると報告した。

3. 脊椎脊髄外科専門医試験の開催日程について

波呂副理事長が、専門医のホームページに掲載しているコロナ感染対策を盛り込んだ注意点の内容を説明し、一同承諾した。

受験人数は9/5（東京）が現状85名、9/9（神戸）が120名程度で、コロナ禍の影響で日々キャンセル等発生している状況である。

会場はどちらの日程も、ソーシャルディスタンスを確保できるようにしていただき、当日の受験室や机の配置図および試験監督のメンバーを示した。また、受験者は会場入室前に検温を実施することとした。

9/9に関しては、試験監督の専門医制度委員がコロナ禍の影響等で急きょ会場に来られない事態が生じた場合、代理で役員に協力してもらいたいと発言し、一同承知した。

審議・報告事項

・専門医テキスト第2版について

波呂副理事長が、専門医試験のテキストについては、第2版を作成中であると報告した。

以上

令和2年8月24日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 松山幸弘

監事 小澤浩司

監事 小西宏昭